

臨床栄養学特論 1

2 単位 (選択) 毎年 (集中)

臨床栄養学特論 1

中屋 豊(授業責任者)・教授/人間栄養科学専攻, 武田 英二・教授/人間栄養科学専攻

【授業目的】 臨症例を通して、実際の栄養評価、栄養管理法を習得する。また、チーム医療の一員として、活躍できるように栄養以外の知識(病態、検査、治療)も習得する。

【授業概要】 1, 症例はあらかじめ、提示する。2, 各症例の病態、検査、投薬、栄養管理をまとめる。3, 問題点を見つけ、それに対する討論を行う。

【授業方法】 [授業方法]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 講義と演習。演習では症例提示し、症例の病態などを理解する。症例における問題点を見つけ、自己学習する。前もって学習を行い、さらに討論を行うことにより、理解を深める。

【到達目標】 [目標]

【授業計画】

1. 1 日目 / 10:00~ 11:30 栄養管理の基礎 / 11:45~ 12:30 症例検討 / 12:30~ 13:30 昼食 / 13:30~ 15:00 水・電解質・酸塩基平衡と栄養 / 15:15~ 16:45 症例検討 / 17:00~ 18:00 諸種病態における輸液管理
2. 2 日目 / 9:00~ 10:30 消化管の生理と病態 / 10:45~ 12:15 症例検討 / 12:15~ 13:00 昼食 / 13:00~ 14:30 チュートリアル(討論)

【成績評価】 1, 討論をどうして理解度を評価する。2, レポート

【教科書】 [教科書]

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217660>

【連絡先】 [連絡先]

【備考】 2 日間の集中講義(東京サテライトオフィス)

臨床栄養学特論 1

2 units (selection) each-year(intensive)

Yutaka Nakaya(Manager)・PROFESSOR / 人間栄養科学専攻, Eiji Takeda・PROFESSOR / 人間栄養科学専攻

Target 臨症例を通して、実際の栄養評価、栄養管理法を習得する。また、チーム医療の一員として、活躍できるように栄養以外の知識(病態、検査、治療)も習得する。

Outline 1、症例はあらかじめ、提示する。2、各症例の病態、検査、投薬、栄養管理をまとめる。3、問題点を見つけ、それに対する討論を行う。

Manner [授業方法]

Keyword [キーワード]

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Notice 講義と演習。演習では症例提示し、症例の病態などを理解する。症例における問題点を見つけ、自己学習する。前もって学習を行い、さらに討論を行うことにより、理解を深める。

Goal [目標]

Schedule

1. 1 日目 / 10:00~ 11:30 栄養管理の基礎 / 11:45~ 12:30 症例検討 / 12:30~ 13:30 昼食 / 13:30~ 15:00 水・電解質・酸塩基平衡と栄養 / 15:15~ 16:45 症例検討 / 17:00~ 18:00 諸種病態における輸液管理
2. 2 日目 / 9:00~ 10:30 消化管の生理と病態 / 10:45~ 12:15 症例検討 / 12:15~ 13:00 昼食 / 13:00~ 14:30 チュートリアル(討論)

Evaluation Criteria 1、討論をどうして理解度を評価する。2、レポート

Textbook [教科書]

Reference [参考資料]

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217660>

Contact [連絡先]

Note 2日間の集中講義(東京サテライトオフィス)